

令和3年度 第1回 帯広市総合計画策定審議会 議事概要

1 日時

令和3年8月20日（金）書面開催

2 議事概要

（1）第七期帯広市総合計画の推進について

資料1（令和2年度施策・事務事業評価表（案））、資料2（帯広市の人口動向）、資料3（第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略～令和2年度評価～）に基づき、施策・事務事業評価の内容や帯広市の人口動向等を踏まえた人口対策について、意見提出シートを提出いただく形で意見を伺った。

委員からの主な意見は、別紙のとおり。

第1回帯広市総合計画策定審議会における主なご意見等(令和3年8月20日開催)

別紙

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等(案)
1	-	全体	評価の考え方	新型コロナという予測できない特殊要因があるので、それを踏まえた全体的な評価、分析があったほうがよいのではないか。
1	-	全体	目指そう指標の目標値	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に対し実績値が大幅に乖離している指標があるため、今後の感染状況を考慮し、適宜修正していく必要があるのではないか。
1	3	-	①「I 事務事業の進捗状況」	「I 事務事業の進捗状況」について、目標を達成した事務事業数が少ないにも関わらず、高い採点となっている施策があり、採点根拠や効果がわかりづらい。
1	3	-	①「I 事務事業の進捗状況」	「I 事務事業の進捗状況」に記載されている主な取り組みについて、101ページ以降の「事務事業評価表」との関係を示すと、より理解が深まるのではないか。
1	5	-	④「IV施策評価」	「IV施策評価」の結果について、最低点でも60点となり、何もしなくても成果が出ているような印象を受け、評価結果を捉えづらいのではないか。
1	14	施策2	II 目指そう指標の進捗状況	子育てに対する悩みなどへの相談対応について、対面だけではなく、オンラインでの相談体制も必要ではないか。
1	20	施策3	IV施策評価	法人後見支援員について、登録者は増加しているものの、実際に活動している方は少なく、相当大変な状況であると聞いているので、こうした課題の解決に向けた考え方を記載すべきではないか。
1	30	施策6	II 目指そう指標の進捗状況	卒業生の実情として進学等により管外へ転出している状況を記述しているが、管内に進学する場がない場合は、一定程度管外へ転出することはやむを得ないものと思われる。進学したい学生への対応としては、管内にも進学できる場を設けることや、管内へのUターンを促す方策が求められるのではないか。
1	34	施策7	II 目指そう指標の進捗状況	指標はすでに目標値を達成していることから、例えば、「・・・14項目であり、現時点ですでに目標値を達成し、順調に進捗しています。」とするなど、その現状に合わせた記述が必要ではないか。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
1	37	施策8	-	「農林業の振興」の中に「ばんえい競馬」が出てくることに違和感を覚える。計画は組織を横断して目的別に作られているものと理解しているが、市役所の組織によって縦割りにされている面が、まだあるのではという印象を受ける。
1	38	施策8	II 目指そう指標の進捗状況	本指標として農林水産省の推計値を使用することに問題があるような感じを受ける。農林水産省の推計より市の推計が現実を反映しているならば、指標として市の推計値を使用したほうがよいのでは。
1	42	施策9	II 目指そう指標の進捗状況	「北海道主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」という指標設定は、帯広市の動向とは関係のない、他自治体の動向の影響を受けるので指標としてふさわしくないのではないかと。
1	44	施策9	-	産業、特に農業の振興のためには、物流コストが課題であると考えている。域内と広域を掛け合わせたモビリティネットワークによる客貨混載の充実が必要ではないかと。
1	46 48	施策10	II 目指そう指標の進捗状況 IV 施策評価	帯広市には、馬文化、緑ヶ丘公園、帯広の森のような自然・緑地、農業、文化施設、スポーツ施設など外部の人を楽しませられるだけの魅力がたくさんあり、それらをうまく融合させて観光資源にできるようなブランディング、ネットワーキング、人材発掘、育成の取組が必要ではないかと。
1	46 48	施策10	II 目指そう指標の進捗状況 IV 施策評価	コロナ禍で観光客が激減している一方で、修学旅行の受け入れの問い合わせが増えているが、帯広市はその受け皿になり切れず、かなりの取りこぼしがあると感じる。観光旅行に限らない、修学旅行、スポーツ合宿など幅広い旅行者の受け入れ体制を考えていく必要があるのではないかと。
1	53	施策12	-	新型コロナによる影響が多方面に及んでいるが、子供にとっては、その時々が先送りできない大切な時期であることから、この施策分野で厳しい評価が出ていることは非常に深刻であり、優先して取り組んでいくべきではないかと。
1	54	施策12	II 目指そう指標の進捗状況	近隣自治体と比べて自然体験学習やキャリア教育の取り組みが弱いと感じる。背景には、校外学習の際の移動手段の確保の問題など学校教育現場の努力だけでは解決できない課題もあり、総合的に分析、検討していく必要があるのではないかと。
1	56	施策12	IV 施策評価	「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」が100%ではないので、「いじめは時には許される」と考えている児童生徒が一定程度いることになる。「いじめが許される」と考えている児童生徒に対してはカウンセリングなどの個別の対応が求められるのではないかと。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
1	56	施策12	IV施策評価	いじめや人権、ニューノーマル時代に合わせた考え方についても学ぶ機会があると、子供達が社会の一員として自ら選択し、行動していく第一歩になるのではないかな。
1	56	施策12	-	新しい教育課程に盛り込まれるプログラミング的思考についての研修は、未来を生きる児童・生徒の育成に関わる職員全員が一度は受けておくべきだと考える。そのような研修会などを計画的に開催して欲しい。
1	56	施策12	-	学校での避難訓練において、自治体の専門部署等で講師の派遣を行い、備えや行動面についての講話を行うことで、子供達や職員の一步進んだ意識の醸成が図られるのではないかな。
1	56	施策12	-	プログラミングに代表されるデジタル教育が進められているが、高校を卒業後の進路等で地元を離れた子どもたちが地域に戻ってくるためにも、地域を愛し、大切に思うアナログ的な教育も大切である。そうした教育を担う人材の育成をはかりながら、アナログとデジタルの双方のメリットを掛け合わせ、相乗効果を生み出すことができる教育が必要ではないかな。
1	60	施策13	IV施策評価	参加者数減の要因として、コロナ感染症拡大に伴う「市民の活動自粛」が要因として書かれているが、市民の自粛だけではなく、施設の利用制限などによりできないという例が非常に多いと思われるため、正確に表現する必要があるのではないかな。
1	64	施策14	IV施策評価	参加者数減の要因として、コロナ感染症拡大に伴う「市民の活動自粛」が要因として書かれているが、市民の自粛だけではなく、施設の利用制限などによりできないという例が非常に多いと思われるため、正確に表現する必要があるのではないかな。
1	66	施策15	II 目指そう指標の進捗状況	「忙しい」、「生活や仕事で体を動かしている」と感じている市民に対して、フードバレーとかちマラソンのオンライン開催という手法が日常生活の中でスポーツに取り組むためのきっかけづくりにはつながらないのではないかな。
1	74	施策17	II 目指そう指標の進捗状況	自主防災組織の活動は町内会の活動とどのような関係があるのかな。
1	80	施策18	IV施策評価	本市消防団員数の定員を満たしていない理由や、消防団員が活動しやすい環境とはどのような環境なのか追記する必要があるのではないかな。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
1	80	施策18	-	新型コロナウイルス感染症にかかる応急手当について、市販品を事前に用意しておくことにより、低酸素症に対応し、市民の安心や緊急体制の確保につながるのではないかと。
1	82	施策19	II 目指そう指標の進捗状況	指標はすでに目標値を達成していることから、例えば、「・・・16.1件であり、現時点ですでに目標値を達成し、順調に進捗しています。」とするなど、その現状に合わせた記述が必要ではないかと。
1	84	施策19	IV 施策評価	刑法犯の認知件数について、数値や表があると傾向を確認しやすいのではないかと。
1	90	施策21	II 目指そう指標の進捗状況	指標はすでに目標値を達成していることから、例えば、「・・・980箇所であり、現時点ですでに目標値を達成し、順調に進捗しています。」とするなど、その現状に合わせた記述が必要ではないかと。
1	92	施策21	-	少子高齢化の進行や自動車の車両価格の高騰による車離れなどを背景に、公共交通の役割は重要になってきている。公共交通施策の推進にあたっては、広域ネットワークのみならず、域内ネットワークの充実が必要ではないかと。
1	92	施策21	-	帯広市に相応しいMaaSの推進が必要であり、目的地と移動手段のネットワーク化やデジタル化の推進はもとより、市役所内の交通政策部署を充実させることで、より実効性のある取り組みを進めていくべき。
1	92	施策21	-	これからのまちづくりの基本コンセプトは「コンパクト+ネットワーク」であると考えている。大空地区など半径2kmの範囲をイメージしたコミュニティづくりが必要。また、コミュニティ内のつながりを強化することがすみやすいまちづくりの実現につながるのではないかと。
1	97	施策23	I 事務事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地・低利用地の具体的な内容を記述するとわかりやすいのではないかと。 ・RPAやAI-OCRの注記があるとわかりやすいのではないかと。
1	97	施策23	I 事務事業の進捗状況	「評価結果の管理職員への処遇反映」とは具体的にどのようなものか。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
1	97	施策23	-	医療、福祉、介護、教育、交通など、様々な分野の課題解決には、DXやオープンデータをはじめとするデジタル化が必須である。また、単独自治体で課題解決していくには限界があることから、自治体の区割りを超えてデジタル化が進めることが必要ではないか。
1	97	施策23	-	施策・事務事業評価表を拝見し、行政が多くの事業を実施していることを知った。だからこそ、簡単な事務作業などはAI等も活用しながら仕事量を軽減していくべきではないか。
1	97	施策23	-	行政の仕事を民間に委託する手法も十分に活用していくべきと思うが、サービスの低下に繋がらないようにチェック体制があった方が良いのではないかと、また、柔軟なサービス向上には市民の目が必要ではないか。
1	97	施策23	-	<ul style="list-style-type: none"> ・米国のポートランドのように市民活動やNPOの発足が盛んになると、より官民が協力してまちづくりの意識が高められるのではないかと。 ・総合計画について、市民がより知れる、また意見を言い合える場がオンラインやSNS上などで設けられることも大きなきっかけになるのではないかと。
3	-	戦略全体	指標	指標の目標値は、新型コロナウイルス感染拡大前に策定しており、令和2年度実績値で大幅な乖離が発生しているものもあるため、今後の感染状況を考慮し、適宜修正していく必要があると考える。
3	-	戦略全体	推進体制	帯広市の日中人口は、周辺自治体からの通勤・通学者を含めると、相当数いると思う。したがって、市単独で人口対策に取り組むのではなく、十勝管内の他の自治体を巻き込み、十勝全体の問題と認識して対応した方が良いのではないかと。例えば、人口対策協議会など長期的に協議・活動する場を作り、他の自治体と足並みを揃えた対策を行うことが効果的であると考えている。
3	-	戦略全体	デジタル化	人口減少は避けられないが、アナログとデジタルをうまく掛け合わせるにより、労働生産性を高めることで、人口減少を相対的に抑制することができるのではないかと。住みやすいまちを創造することが人口減少の抑制につながると考える。
3	-	基本目標 1	①産業基盤の強化>ア) 創業・起業支援	「第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、とかち・イノベーション・プログラムやLANDの運営などに取り組んできているが、より多くの市民に対し、自分たちのできることについて話し合い、地域の経済活動を盛り上げていきたい、と思わせる引き金づくりが必要と感じる。LINEのような発信ツールをうまく活用し、計画の指針を少しずつ伝えながら市民を巻き込んでいくのもよいのではないかと。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
3	-	基本目標 1	③産業人の育成>ア) 次世代の担い手育成	十勝・帯広には、既存プレイヤーや起業を志望する人材が多く、“とちち・イノベーション・プログラム”をはじめとした創業・起業支援事業などの支援体制も他地域に比べ圧倒的に充実していると感じている。 他地域との比較感も含め、そうした現状を強みとして打ち出し、市民への認知を広げ、地域産業やまちづくりに誇りや愛着を持ってもらうことで、“次世代の担い手”が更に開拓できると考える。
3	-	基本目標 2	①移住・定住の促進>イ) 移住支援	若年層が高校卒業後に札幌圏や首都圏の大学等に進学、就職し、十勝に戻って来ないことが人口減少の大きな要因になっていると考える。特に進学校の生徒はUターン率が低いのではないかと。財源の問題はあるが、学費を捻出しにくい家庭の子供達を対象とした奨学金制度を設けるなど、札幌圏等に出ていった子どもたちを戻すための施策が必要であると考えます。
3	-	基本目標 2	①移住・定住の促進>イ) 移住支援	生産年齢世代が移住を検討する中で、しごとの少なさが課題であると認識している。 問題を解決するための手段の一つとして、既存の職業紹介だけでなく、創業・起業に係る充実した支援体制や醸成されたコミュニティを打ち出し、しごとづくりを選択肢の一つに入れてもらうことで、移住・定住が更に促進されたいと考える。
3	-	基本目標 2	②地域特性を活かした“十勝観光”の展開>ア) 体験・滞在型観光の推進	アウトドアブランディングの効果もあり、十勝・帯広では、尖った質の高いアウトドア系コンテンツが徐々に誕生していると認識している。 コロナ渦において人気を集めているアウトドア系コンテンツを、地域として網羅し一体的にPRすることで、域外に効果的に魅力を発信することができ、副次効果として帯広市への観光入込客数の増加に繋げることができると考える。
3	-	基本目標 3	①結婚・出産の支援>ア) 結婚・出産を支える環境づくり	育休制度を導入し、導入率を上げて、育休をとった方の分の仕事の何割かは同じ職場内の正職員が担い負担をかけることになるため、実効性は薄い。正職員だった女性も、妊娠・出産を機に待遇を下げざるを得ないという現状である。女性の一生の問題であり、これを改善していくことに本腰を入れることを期待している。
3	-	基本目標 4	③市民活動の活性化>イ) 多様な主体の活躍促進	学校教育の現場では男女は平等に扱われるが、社会に出ると性差で給与・待遇に差がつく。男性優位という既得権は社会の隅々に行き渡っており、社会の意識を変えるためには、より上位にある方の姿勢が鍵になると考える。上に立つ人ほど性差ではなく、個々の能力や適性を一番に見るという姿勢を、機会あるごとに表現・体現して欲しいと期待している。

資料	ページ	箇所	区分	主なご意見等（案）
3	-	基本目標 4	②快適な都市環境の確保＞ エ) 中心市街地の活性化	ナイトエコノミーのみが活性化していた帯広市の街中に、日中の人流増加を実現させる方法の一つとして、街中居住促進支援が効果的だと考える。 居住者が増えると、おのずと生活者のための物販店や飲食店が増え、店舗が充実すると居住者以外の街中往来動機が生まれ、という良いサイクルが回りだす。こうした体制を整備することで、中心市街地活性化に繋げることができると思う。
3	-	基本目標 4	②快適な都市環境の確保＞ エ) 既存ストックの適正管理等の推進	十勝管内の中古住宅買取再販業者の活躍はめざましく、地域の不動産情報ポータルサイトについても大手企業を凌駕している現状にある。 地域には、すぐに売れてしまう空き家がある一方で、特に理由もなく放置され続けている空き家もあることから、空き家を放置する人がメリットを感じる売却条件を調査し、地域の不動産情報ポータルサイトと連携することで、効果的な情報発信が可能となり、更なる“既存ストックの適正管理等の推進”に繋げることができるものと思う。